

碩心

可認行 会風岳 院学吟詩 日本 日碩 会認行

5年7月 逗葉大	現在地区 子山船 (合計)	員数 161 235 443 439	名 名 名 名	5年7月 根中	発行 岸編 集村	(252号)	者 者 者	岳 岳 岳	萃 愛
-------------	---------------------	--------------------------------	------------------	------------	----------------	--------	-------------	-------------	--------

宇野
と
う
の

八月の行事予定

◎碩心会資格調査会

日時・8月3日(火) 午後7時より
場所・桜山会館

◎県本部指導者吟道講座

日時・8月8日(日) 9時受付
場所・防大中講堂

(当日吟道手帳提出)

◎県本部準師範研修講座

日時・8月8日(日) 9時より
場所・防大会議室

受講料・千円(弁当、テキスト代含む)

全国大会高齢者表彰をうけて

御礼のことば

松和 武井桃風(92才)

総本部長谷川理事長よりの表彰状、記念品を、碩心会温習会式典の席上で根岸会長から授与される光栄を得、列席の先生、会場の皆様から祝福と御声援を受け、私のようなものまでもと、誠に恐縮し、感謝の念で一杯です。私が松和支部へ入会したのは、昭和50年11

月で、80才を過ぎておりました。当時、毎朝海岸散歩中、友人の武藤薫風さんにすすめられ、三井岳龍先生の教場で教えを受けました。私は少年の頃、実家の前に錦心流薩摩琵琶の教師がいられ、約3年程習いました。琵琶の中には勿論、漢詩(城山、本能寺、川中島等)があつて、多少の経験があつた為か、はじめて「九月十日」を吟じた時、三井先生から、前に詩吟をやりましたか?と尋ねられ、吟の心得があつたのかなと感じました。

それから12年間、毎日暇を弄ぶ毎日でしたから、教本に従つて練習は勿論、温習会、昇段試験、夏期講習に必ず出席して、有益な講議を受けたほか、詩吟のテープ(本部講習、市販日本詩吟学院のもの等50余巻)集めて、吟と教本の吟譜を研究しました関係で、一層の興味と、更に健康にも良い結果を得ました。今回表彰を頂き、年令を忘れて詩吟を勉強した為かなとも感じました。
吟友の皆様、詩吟は教養にも健康にも、又自己の趣味として、最良ではないかと愚考しております。どうか益々詩吟を研究錬磨されまして、碩心会、更に岳風会の為に頑張ります。

平成五年度

碩心会理事会・議事録の中より

日時：6月12日(土)午後2時より

場所：桜山下会館

葉山地区長 沼田義岳

来る6月20日の第二地区大会にはよろしく御協力お願いします。大会の出吟割当について、人数、出吟料など責任をもってもらいたい。出吟者名簿提出の場合、必ず名簿番号、段位を、間違いないよう必ず入れて下さい。
逗子地区長 村田 澗 岳
昨年12月の逗子地区温習会、盛会裡に終り御礼。又第103回全国大会に逗子地区より31名参加協力を御礼。

又5月16日の逗子吟舞連発表会に協力の御礼と、吟舞連役員交替で新理事長岡嶋岳鳳先生のもと、小林信岳先生(青嵐)と共に総務を担当することになった事を報告。

大船地区長 木村 松 岳

来る11月14日(日)に大船地区温習会を予定。会場は8月14日に予約。会員が少ないので、会員確保に努力しているが仲々集まらず苦勞している。よろしく御協力を。

教務部長 竹石 岳 泓

7月11日の全国選抜吟詠大会に、内山俊岳(出吟)と一般13名、総本部役員根岸先生の計15名が申込み。(立沢、松井氏は別申込み)

7月24・25日の総本部吟道講座に、当会より応用講座に8名、基礎講座に5名の申込みがあった。(多数の場合抽選になるかも)

8月8日の県本部指導者講習会に28名が申込み。

碩心会指導者数について：毎月最終月曜日に指導者講習会をもち、吟法講座、連絡等行なっているが、指導者数は上席師範2・正師範8・師範9・準師範24で合計43名。
10月1日付準師範5名増の予定。

総務部長 加藤 岳 洵

◇昨年の理事会以降の碩心会関係行事の報告

7・15：理事会

8・13：常任理事会

9・6：秋季審査会

10・25：各役員協議会

11・29：県本部、会長、事務担当連絡会議

県本部も新体制となり、新しい試みとして、総本部会員登録事務連絡、会費納入、県本部会費の納入手続き、許証申請書等、事務

的連絡の統一について徹底を図り、同時に今後の県本部のゆき方等につき意見を求める等、新体制となって遂行。

12・13：逗子地区温習会

1・10：初吟会(251名参加)

1・26：全国選抜碩心会予選(11名中6名合格)

3・4：春季審査会

3・7：神奈川選抜予選(碩心より2名合格)

3・28：第103回全国大会

碩心会から91名出席となっているが、現状は6割ということであるが、来年も3月27日に行なわれることになっているが、選出等について細かく検討したい。

4・25：関東選抜予選(碩心より内山俊岳合格)

5・4：皆伝会(新10名)を含め116名いるが57名が出席。来年は逗子地区代表幹事が担当。

5・17：常任理事会(決算・予算・理事会設定等)

5・9～11：碩心会吟行会(三河方面)

5・23：県本部総会

審査に際し70才以上書取免除、75才以上教本をみてよい。

県本部会員状勢：五、八二六名で98名減

第二地区としては一、一八一名で76名減

5・30：第2回神奈川地区青少年大会

全国を21地区に分け、神奈川県地区は県本部、聖吟会、さがみ吟道会、正心吟道会の4会からなる。碩心会より40才以下の該当者3名と一般賛助15名の計18名が参加。来年からは一般賛助の増員をよびかける。

6・5：総本部主催認可団体連絡会議

前記4会の役員、参事、幹事の中から今回は72名が参加「各地区の活動について」というテーマのもとに平塚農業会館で行なわれた。

6・6：碩心会温習会

◇予定行事について
6・20：横二地区大会（碩心より284名出吟予定）
10・30、11・1：県本部吟行会（現在15名参加予定）

◇碩心会々員構成状況について

平均年令(男)66才・(女)63才・平均年令64才
四月一日現在40才以上51名・51才以上396名

許証部長 中村 岳 郵

秋季審査会は9月26日 森晴風さんの骨折りで逗子図書館ホールに決定。

今年から80才以上も一般会員として、本部費、許証料等納入する。去年迄に80才になったB会員については従来通り。

11月に行なわれる県本部講習会の中で七八段の講習はなくなる。皆伝以上は従来通り。

師範位について：準師範希望の方はなるべく早く申し込んでください。

広報部長 中村 岳 愛

発刊以来21年経過。内容等につき忌憚ない御意見等聞かせてほしい。皆様の寄稿をお願いする。

企画部長 綾部 秋 岳

初吟会に会員247名と招待4名で盛会に終り御礼。来年担当は逗子B・桜山A・銀詠・葉月・山ノ根・沼間支部となるのでよろしく。

5月9・10日の吟行会は事故もなく、楽しく無事に終った。

6月6日の温習会を終り、反省点も数々あったが次回には皆様の御期待に添うよう、努力するのでよろしく。

会計部長 矢島 悦 岳

別刷プリントにより、平成4年度の決算報告と、特別会計（教本その他、積立）等について報告あり、鈴木孝岳会計監査より間違いないことが認められた。

次に別刷プリントにより、平成5年度予算案報告、繰越金は総本部費に当てるので残金が少ない。4年度は55周年大会があり温習会がなかったので10万位使わずにすんだが、今

年は6月6日の温習会に14万位かかった。当分赤字になるので値上げしてもらわないとやってゆけない。さきの常任理事会に案として年間五百円あげて、二千元にしたらという話が出た。一応5月に前期分を集めてしまったので、後期に二百五十円あげていただく予算案をたて皆さんに図った。

右に関し色々議論されたが可決された。

コンクール入賞

◇6月6日温習会合吟コンクール（5名一組）

一位・一色A：621点 二位・堀内F：621点

三位・真澄：620点 四位・逗子A：618点

五位・真澄：615点

◇6月20日横二大会連吟コンクール（2名一組）

一位・逗子A：村井知風・駒場咲山

三位・一色A：川口真風・鈴木葉風

四位・真澄：星野輝風・嶋津幸風

和歌

俳句

カセットテープの発売（総本部発行）

一卷：三千円

（十巻以上一括購入の場合は一割引）
申し込みは教務部竹石先生方

はじめてのコンクール

大船A 山口夕岳

第二地区大会での連吟コンクールの割当がきて、私の教室の人達のはじめて出吟を引受けることになりました。それからの日々は大変なことでした。ましてや連吟する御当人二人にとっては私以上に重荷に耐えられたことと思います。

梅雨の季節のこと故、雨降りを感じていますが、当日は雨も上り、会場への道は多勢の人達が三々五々会場へ向い、会場へ着くと、広い会場の椅子席は席取りのための荷物が置かれ、並びの席を探すのに大変でした。

9時30分定刻に会は始まり、11時にコンクールの出吟順を決める抽選会が行なわれました。集まった人達の顔ぶれは、皆経験のあるベテラン手ごわい相手ばかりです。でも二人が案外落つているので私も安心しました。出吟番号は8番：もう少し早い方がよかったですかなとも思いました。

式典が終り、いよいよコンクールの始まりである。席で見守る私達グループは、自分事

のように、みんながドキドキして出吟を待つ。「こんなの胃に悪いよ」：なんて言いながらきて結果は先輩にはかなわなかったということになりましたが、独吟で温習会に出たこともないという人達が、いきなり連吟コンクールでこれだけの吟が出来たという事は立派だと思いました。この春の審査会で初伝になったばかりの二人です。

コンクールとなると会員の少ない所では、人選も大変であり、二人の気も合った人達でなければならず、色々苦労の面がありました。残念ながら今回は賞には入りませんでした。二人にとつてもよい勉強になったことと思ひ、又、教室の仲間が自分事のようにドキドキハラハラして応援し、そして感謝してその労をねぎらう気持を一つにし、こんなすばらしい一日となった事を、あらためて出吟・応援の皆さん一人々々に心からお礼を言いました。

（短歌） 宇都宮 徳 岳

正気歌 吟じ終つて 駿府過ぎ

旅情歌つて 富士川を越ゆ

墓参者の 心通じて 涙すか

殉国七士の 墓辺雨降る

（俳句）

ガン封じ祈る間も伸ぶ松の芯 岩崎 恵岳
 十界の闇抜けし眼に新樹照る
 玫瑰まいかいの花や婚儀を祝いけり 南部 政岳
 梅雨晴間日本列島祝い事 石渡 桂岳
 薫風や山で汽車見しじじの肩 白井 寿岳
 花菖蒲ゆふべをいそぐ溪の音 佐久間爽岳
 梅雨に入る石工の音休みなく
 雨の中女ひとりの田植かな 寺脇 宇岳
 山低く青田いちめん水光る

（入会）

678 山本 進 葉山町堀内二一〇〇一五六

（下山口） ☉〇四六八―七五―六六七六

679 荒井 勇 葉山町長柄九六七

（長柄） ☉〇四六八―七五―五六四四

680 中島萬里子 葉山町一色一〇〇―四七

（一色A） ☉〇四六八―七五―四八五八

681 山本信雄 逗子市久木五―十一―二二

（真澄） ☉〇四六八―七―一七〇六七

（退会）

93 小林宝岳（堀内B） 413 角田祥山（下山口）

524 中坪昭泉（銀詠） 547 宮下艶泉（真澄）

635 酒井和子（若葉） 654 河野頌徳（真澄）